

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：シンク・アンド・アクト株式会社 代表者職名：伊澤慎一
補助事業テーマ	舞鶴地元市民連合グループが自発的に創り上げるデジタルツーリズム
事業実施期間	令和2年10月12日～令和3年2月28日
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 舞鶴市民が制作した、舞鶴PR動画の公開による関係人口の増加</li> <li>② 舞鶴の観光コンシェルジュとしてのビジネス化</li> <li>③ リーズナブルなコストでの観光振興モデルの開発及び普及支援</li> </ul>
事業の実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 13:50のショートムービーを制作公開。タイトルは「冠島の見える丘から～君とすごした舞Days～」。公開1カ月半ほどで、目標1,000回に対し、3,009回の再生となる。</li> <li>② 舞鶴観光コンシェルジュとして、モニターツアー2組実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;2月20日、21日実施（ロケ地を巡る観光）&gt;</li> <li>国内、世界での旅の経験が豊富な、舞鶴市内在住のフリースタイルフットボールの世界王者2名（LAGCLASSIC）とその友人の計3名へ2日間の観光コーディネートを実施。</li> <li>&lt;2月24日、25日実施（地域性を感じるワーケーション）&gt;</li> <li>地方創生、ノマドに知見のある方1名をお招きし、地域を楽しみながら仕事を行う、1泊2日のワーケーションコーディネートを実施。</li> </ul> </li> <li>③ 地域住民が主となることで、ハイクオリティな映像制作が低コストで実現。住民が主体となることで、純粋に地元住民がお勧めしたい地域性を発信することができた。また、地域住民の方からの積極的な協力により、本来なら大きな費用のかかる、脚本制作、監督料、出演料、現地コーディネート費などの様々なものが低コストで実現。 <ul style="list-style-type: none"> <li>さらに、地域の良さを自ら見つけに行き、地域全体をよくしていくという発想が定着し、それに共感する方が雪だるま式に増えていくなど、この映像制作をきっかけに舞鶴に持続可能な新しいムーブメントが起ころうとしている。</li> </ul> </li> </ul>
今後の展望	<p>今後はこの5つの地域課題の発見・解決、新ビジネスの具体的な実現を目指していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①京都市北部の地方自治体向けを中心に、舞鶴市民連合主導のリーズナブルなコストでの観光振興モデルの開発及び普及支援。</li> <li>②ワーケーション×地域住民（地域との関わり）というカテゴリーへの活路。</li> <li>③舞鶴市民連合主導でより地元性に特化して作成したWEB動画コンテンツの「ふるさと納税」（企業版ふるさと納税を含む）プロモーションビデオへの活用。</li> <li>④U・Iターン検討者への新しい移住促進コミュニケーションツールへの活用。</li> <li>⑤地方拠点構築を検討する企業への新しい誘致コミュニケーションツールへの活用</li> </ul>